



平成 26 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社アドバネクス
代表者名 代表取締役社長 柴野 恒雄
(コード番号 5998 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役業務管理本部長 大野 俊也
(TEL. 03-3822-5865)

子会社の株式譲渡および特別利益の発生に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 7 月 1 日開催の臨時取締役会において、当社が 100%保有する第一化成ホールディングス株式会社の株式のうち、49%を台湾の企業グループ「能率集団 (ABICO GROUP)」傘下の ABICO FS Co., LTD.、JABON INTERNATIONAL CO., LTD.、AVY HIGH TECH LIMITED、ABILITY I VENTURE CAPITAL CORPORATION の 4 社に譲渡することを決議し、本日付で株式譲渡契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

また、本株式譲渡にともない、関係会社株式売却益として平成 27 年 3 月期に約 290 百万円の特別利益を計上する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 株式譲渡の目的

当社の主力事業は精密ばね事業とプラスチック事業の 2 つであります。第一化成グループが担当するプラスチック事業においては、近年、国内売上が減少するとともにアジアにおいて売上が増加する傾向にあります。このような環境下、「能率集団」に第一化成グループの経営に参加してもらうとともに、第一化成グループのプラスチック成形技術を「能率集団」の持つ電子機器や OA 機器等の製造販売事業と連動させることにより、中国、東南アジアにおけるプラスチック事業の更なる拡大と加速化を図ってまいります。

同時に、当社のコア事業である精密ばね事業を強化するべく、今回の株式売却によって得られる資金を現在計画中国内自動車部品専用工場やアジアの生産体制拡充の投資等に充当するとともに、今後アジアにおける精密ばね事業においても「能率集団」と協力関係を構築し、事業範囲の拡大を図っていく予定です。

2. 株式の一部を譲渡する子会社の概要

(1) 名称	第一化成ホールディングス株式会社
(2) 所在地	栃木県下野市下古山 154 番地
(3) 代表者の役職、氏名	代表取締役 小原 正美
(4) 事業内容	プラスチック、セラミック及びその複合材による精密射出成形品の製造販売、射出成形用精密金型の設計・製造・販売、プラスチック部品を中心とした電子部品、ゴム部品、プレス部品などの精密組立及びユニット製品の設計・製造・販売
(5) 従業員数	(個別) 役員以外の従業員はいない (連結) 890 名 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
(6) 連結子会社	第一化成株式会社、M. A. C. TECHNOLOGY (MALAYSIA) SDN. BHD.、IKKA (HONG KONG) CO., LIMITED、IKKA Technology (Vietnam) Co., Ltd.、IKKA Technology Dongguan Co., Ltd.
(7) 資本金	100 百万円

(8) 設立年月日	平成 1 年 8 月 11 日		
(9) 大株主および持株比率	株式会社アドバネクス 100.0%		
(10) 当社と当該会社との間の関係	資本関係	当該会社の全株式を保有しています。	
	人的関係	当該会社の取締役 4 名と監査役 1 名は、当社役職員が兼務しております。	
	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。	
(11) 最近 3 年間の経営成績および財政状態 (連結)			
決算期	平成 24 年 3 月期	平成 25 年 3 月期	平成 26 年 3 月期
売上高	10,056 百万円	10,013 百万円	11,349 百万円
営業利益	289 百万円	200 百万円	369 百万円
経常利益	224 百万円	294 百万円	435 百万円
当期純利益	254 百万円	276 百万円	406 百万円
総資産	6,505 百万円	6,499 百万円	7,220 百万円
純資産	910 百万円	1,115 百万円	1,583 百万円

3. 株式譲渡の相手先の概要 (4 社)

1. 名称	ABICO FS Co., LTD. (能率豊聲科技股份有限公司)
2. 所在地	台湾新北市汐止区康寧街 169 巷 27 号 13 階の 1
3. 代表者の役職、氏名	胡湘麒
4. 事業内容	電子部品、レコードディスク、事務機器用部品
5. 資本金	408 百万台湾ドル (1,383 百万円)
6. 設立年月日	1993 年 6 月 29 日
7. 直前事業年度の純資産および総資産	純資産 : 618 百万台湾ドル (2,095 百万円) 総資産 : 1,490 百万台湾ドル (5,051 百万円)
8. 大株主および持株比率	能率投資股份有限公司 8.08%
9. 当社と当該会社との間の関係	なし

※ 1 台湾ドル=3.39 円 (平成 26 年 5 月末の為替レート) で換算しております。

1. 名称	JABON INTERNATIONAL CO., LTD. (捷邦國際科技股份有限公司)
2. 所在地	台湾台北市南京東路 2 段 178 号 7 階
3. 代表者の役職、氏名	胡湘麒
4. 事業内容	粉末冶金、ギヤボックスの組立、電子部品
5. 資本金	519 百万台湾ドル (1,759 百万円)

6. 設立年月日	1976年12月9日
7. 直前事業年度の純資産および総資産	純資産：894百万台湾ドル（3,031百万円） 総資産：1,897百万台湾ドル（6,431百万円）
8. 大株主および持株比率	應華精密科技股份有限公司 21.88% 能率投資股份有限公司 6.00%
9. 当社と当該会社との間の関係	なし

※1台湾ドル=3.39円（平成26年5月末の為替レート）で換算しております。

1. 名称	AVY HIGH TECH LIMITED
2. 所在地	P.O.Box 217, Apia, Samoa
3. 代表者の役職、氏名	董俊毅
4. 事業内容	投資ホールディング
5. 資本金	6,776千USドル（689百万円）
6. 設立年月日	2007年10月26日
7. 直前事業年度の純資産および総資産	純資産：14,355千USドル（1,459百万円） 総資産：23,661千USドル（2,405百万円）
8. 大株主および持株比率	應華精密科技股份有限公司 100%
9. 当社と当該会社との間の関係	なし

※1USドル=101.66円（平成26年5月末の為替レート）で換算しております。

1. 名称	ABILITY I VENTURE CAPITAL CORPORATION（能率壹創業投資股份有限公司）
2. 所在地	台湾台北市復興北路101号10階
3. 代表者の役職、氏名	董炯熙
4. 事業内容	創業投資
5. 資本金	1,000百万台湾ドル（3,390百万円）
6. 設立年月日	2011年10月13日
7. 直前事業年度の純資産および総資産	純資産：1,078百万台湾ドル（3,654百万円） 総資産：1,079百万台湾ドル（3,658百万円）
8. 大株主および持株比率	應華精密科技股份有限公司 28%
9. 当社と当該会社との間の関係	なし

※1台湾ドル=3.39円（平成26年5月末の為替レート）で換算しております。

※ 能率集団（ABICO GROUP）について

能率グループは、1965年に董炯熙ならびに董炯雄が佳能企業を創立し、キヤノン株式会社の台湾地区総代理権を取得したことに始まります。1987年に能率投資股份有限公司を設立し、投資事業開始しました。現在では佳能企業(TT2374)、應華精密(TT5392)、上奇科技(TT6123)、捷邦

國際(TT 1566)、能率豐聲(TT 8071)の株式上場・店頭登録企業5社を傘下に持つ多角化事業の総合グループに発展を遂げています。能率グループは、現在国内外に合わせて15箇所の製造拠点と世界20か国あまりに販売拠点を有し、従業員数は15,000人を超えています。詳細につきましては、同グループのホームページをご参照ください。

<http://www.abico.com.tw/>

4. 譲渡株式数および譲渡前後の所有株式等の状況

(1) 異動前の所有株式数 44,590株 (所有割合 100.0%)

(2) 譲渡株式数 21,849.1株

(内訳)

ABICO FS Co., LTD. 6,688.5株

JABON INTERNATIONAL CO., LTD. 8,918株

AVY HIGH TECH LIMITED 4,459株

ABILITY I VENTURE CAPITAL CORPORATION 1,783.6株

(3) 異動後の所有株式数 22,740.9株 (所有割合 51.0%)

5. 今後の日程

平成26年7月1日 臨時取締役会決議、譲渡契約書締結

平成26年7月31日 株式引渡し期日(予定)

6. その他

本件譲渡後も、第一化成ホールディング株式会社は引き続き当社の連結子会社であります。なお、本件譲渡について、中華民国政府機関の承認を得ることができないことが明らかになった場合には、本契約は失効します。

7. 本株式譲渡に関する特別利益の計上について

当社は本株式譲渡にともない、関係会社株式売却益として特別利益約290百万円を計上する見込みです。また、当社の連結業績に与える影響につきましては、本日公表しました業績予想の修正に関するお知らせに記載しましたので、そちらをご参照ください。公表しました業績見通しは現時点における当社の見込みに基づくものであり、今後、業績見通しに変動があれば、改めてお知らせいたします。

以上